

手術内容で比較したフェンタニル IV-PCA による鎮痛効果（後方視的検討）

1. 研究の対象

2011 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日までの間に IV-PCA を用いて術後鎮痛を行った方

2. 研究目的・方法

患者さんの臨床データ（年齢、性別、身長、体重、ASA-PS（アメリカ麻酔科学会-全身状態分類）、病名、手術内容、麻酔内容、術後痛レベル、鎮痛方法）をカルテから収集させていただきます。そのうえで、手術内容、鎮痛方法と術後痛レベルとの関係を解析させていただきます。研究期間は平成 28 年 5 月 24 日から平成 30 年 3 月 31 日の予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病名、手術内容、麻酔内容、術後痛レベル、鎮痛方法 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校病院 麻酔科 川口 慎憲（研究責任者）

TEL：04-2995-1211 内線 2339